

長 坂

真理の鐘の鳴り響く

平戸市立生月中学校
学校だより 第17号
(令和3年12月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏みかし』

『無知は偏見を呼び、偏見は差別を生む』 ～ 令和3年度 人権学習・人権集会 ～

12月10日(金)に、『人権』について知る・考えるをテーマとした今年度の人権学習の取組のまとめとして、人権集会が開催されました。集会へ向けた事前学習では、人権集会実行委員長の吉村健祐くんをはじめ実行委員の皆さんが、『その見方は、人を傷つけていない?』と題して、各学級で「偏見」についての学習会を行ってくれました。

集会では、田平町にある障がい者就労支援施設「春菜」の施設長である松永利弘さんを講師にお招きし、『春菜に通所する人達』と題してお話をいただきました。利用者の方々の様子や施設の紹介だけでなく、障がい者が「地域で暮らす」ための自立支援や、地域住民が障がい者を正しく理解するための取組についてもお話していただきました。

集会の最後には、実行委員会で作成した『生月中学校 人権宣言』が、全校生徒の賛同を得て採択されました。

これからも人権に関する学習を深め、人権に関する知識と人権感覚を豊かにしていくことで、生徒と先生方全員が安心して生活できる学校づくり、さらには、すべての人が安心して生きていける社会づくりを目指していきましょう。

【令和3年度『生月中学校 人権宣言文』から】

- 一、私たちは、誰もが「弱い」立場の者に寄り添う集団を作ります。
- 一、私たちは、うわさや不確かなことで決めつける見方(偏見)をしません。
- 一、私たちは、それぞれの違いを認め、相手の立場に立って考え、いじめ・差別のない学校を作ります。



「選ぶ責任 選ばれる責任」 ～ 令和3年度 生徒会役員選挙が行われました ～

12月2日(木)、新しい生徒会本部役員を選出する選挙が行われました。今年は、会長と1年副会長に3人ずつ、2年副会長に2名、書記に1名の立候補がありました。今回、多くの生徒が立候補してくれて、とてもうれしく思いました。候補者の皆さんは、選挙運動期間中、校舎前であいさつ運動を行ったり、各教室を回ったり、給食時間に放送で支持を呼び掛けたりしました。選挙当日は、投票に先立って立会演説会が行われ、どの候補者も、自分はどんな生徒会活動を目指すのかを、自分の言葉で堂々と聴衆に訴えました。また、応援責任者の皆さんの応援演説もとても素晴らしかったです。候補者や応援責任者の演説を聞いて、「表現力の育成」という日頃の学習の成果が表れていると感じました。候補者や応援責任者の皆さん、お疲れ様でした。また、選挙管理委員長の末吉加乃さんをはじめ選挙管理委員の皆さん、役員選挙の企画・運営、お疲れ様でした。そして、ありがとう。

【生徒会本部役員 当選者】※新しい本部役員の皆さん、より良い生徒会活動をめざして頑張ってください。

○会長：田淵 一心(2年)、 ○副会長：永田 璃紗(2年)・白石 真央(1年) ○書記：外山 朝陽(1年)



『ダメなものは、絶対にダメ!』 ～ 「薬物乱用防止教室」が開催されました ～

去る11月22日(月)、2・3年生を対象に、「薬物乱用防止教室」が開催されました。当日は、本校の学校薬剤師でもある生月調剤薬局の北原敏弘先生を講師にお迎えして、薬物だけでなく、タバコやアルコールが心身に及ぼす悪影響についても学習しました。また、お酒やタバコを勧められたとき、どう対応するかのロールプレイングも実施し、より実践的に学習しました。

近年、ネット利用の拡大により薬物が簡単に手に入るようになり、乱用者の増加と低年齢化の傾向が見られます。薬物乱用の防止には、正しい知識と強い意志が大切です。すべての生徒の健やかな成長を願っています。

